

3. 経営方針

(1) 会社の経営の基本方針

当社グループは、摩擦・潤滑技術を基盤とした製品とエンジニアリングをもってお客様に貢献し、社会の繁栄に寄与することを基本理念としております。

また、スピードある「開かれた経営」を行い、株主・顧客・社員の信頼と期待に応え、社会とともに成長発展をめざすことを念頭において経営しております。

(2) 目標とする経営指標

当社グループは事業・製品領域の拡大による売上高の伸張と、継続的な原価低減活動による営業利益率の向上を重要な経営指標と位置付けております。

(3) 中長期的な会社の経営戦略および対処すべき課題

グローバルな自動車マーケットは新興国を中心に拡大を続けるものと期待されます。その対応として、新興国市場での価格競争力確保と地球環境保全のための新製品提供の重要性が、より高まっていくと認識しております。

この環境変化をビジネスチャンスとして捉え、グループ一丸となり継続的な成長を実現するため、当社グループは2013年3月に、2013～2015年度の中期経営方針を策定いたしました。2015年度はこの中期経営計画の最終年度となります。「活動の3軸」の下、最終年度を確実に成し遂げ、次期中長期計画のスタートにつなげられるよう一層取り組みを加速させてまいります。

■中期経営方針

「信頼されるグローバル企業を目指して」

- ・強固な経営基盤のもと、継続的に新技術・新製品を展開する
- ・迅速な海外生産展開により良品廉価製品をグローバルに提供する

■中期経営方針 活動の3軸

1. 製品・製造領域のグローバルな拡大

- ・軸受のグローバル市場を的確に把握し、適時・適地に適確な製品を供給する
- ・資源、環境動向を先取りした製品を開発・提供し社会に貢献する
- ・生産拠点の自立化により、グローバル生産体制を強化する

2. 製品技術・生産技術の革新

- ・トライボロジーを軸に軸受から潤滑システムへ技術領域を拡大する
- ・グローバル競争に勝ち抜く、革新的標準ラインを構築する

3. 人財力の強化

- ・マネジメント力を向上する
- ・社員が自ら成長できる育成環境と会社風土を創造する
- ・事技部門の生産性を画期的に向上する

これらの活動を通じて、今後も当社グループは世界のステークホルダーの皆様に信頼される企業を目指し、努力してまいります。

4. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。